

平成26年度 事務事業評価調書（平成25年度実績分）

事務事業名	ペットボトル拠点回収委託費				
所管部局	環境部	部局長名	黒田 直稔	予算事業名	ペットボトル拠点回収委託費
所管部署	環境業務課	所属長名	寺尾 彦彦	予算事業科目(平成26年度)	010403010146

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	01 共生の環
政策	06 環境負荷の少ない循環型社会の形成
施策	14 廃棄物の発生抑制・再利用の推進

2 事業の根拠・性格

法定受託事務

法律・政令・省令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	施策取組方針
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等	高知市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例, 同施行規則	
その他(計画, 覚書等)	一般廃棄物処理実施計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民が拠点に排出したペットボトル			
意図	どのような状態にしていくのか	高知市内の拠点回収場所から収集し、菖蒲谷プラスチック減容工場へ運搬する。			
手段	事業実施体制等	平成24年度から、民間の高い技術力やコスト意識を活用し、民間事業者へ委託			
		事業開始年度 平成24年度 事業終了年度 平成26年度			
活動内容	どのような事業活動を行うのか	市民が分別排出したペットボトルについて、量販店・学校・市民会館・ふれあいセンター等の収集拠点からペットボトルを回収し、菖蒲谷プラスチック減容工場に搬入する。			
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方		
	A	収集率(%)	指定された日に確実に収集運搬を行うこと		
	B				
	C				

4 事業の実績等

			23年度	24年度	25年度	26年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	収集率(%)	目標 100	100	100	100		
			実績 100	100	100			
	B	目標						
		実績						
	C	目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	0	12,075	12,075	12,420	平成23年度までは直営。 平成24年度から民間委託。	
		財源内訳	国費 (千円)					
			県費 (千円)					
			市債 (千円)					
			その他 (千円)					
			一般財源 (千円)	0	12,075	12,075		12,420
	翌年度への繰越額 (千円)							
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	21,600	0	0	0		
		正規職員 (千円)	21,600	0	0	0		
		その他 (千円)						
		人役数 (人)	3.00					
正規職員 (人)		3.00						
その他 (人)								
総コスト= ① + ② (千円)		21,600	12,075	12,075	12,420			
市民1人当たりコスト (円)		64	36	36		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数 (人)		337,875	338,397	336,845				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

当該事業においては、安定的な収集運搬ができています。
 今後、さらに回収拠点を充実させることで排出する市民の利便性が向上する（回収拠点の新たな指定は廃棄物対策課の担当業務となる）。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	A	4.0	ペットボトルの再資源化を前提とした収集運搬業務を行うことにより、環境負荷の少ない循環型社会の形成の一端を担っている。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	4.0	安定的なペットボトルの収集運搬業務が行われている。 収集日の設定については減容工場と調整が必要となるものであるが、特に年末年始とその前後の土日の周期によって、長期間収集のない日が生じることのないよう、細かな収集日の調整が必要となる（例えば土曜日に減容工場を開所して、臨時収集を行う等、回収拠点に無理が生じないための調整が必要となる）。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	A		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	平成24年度より3か年度の債務負担行為を設定し、委託を実施している。 受託者は、受託業務の推進に際し、市民対応や拠点収集店舗との対応に配慮し、また事故防止にも努めており、特に問題はないものとする。 経費の削減、安定処理の向上に向けて5か年の債務負担行為の設定を検討。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	5.0	公平性は保持されている。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	A		
総合点	17.0	総合評価	<input checked="" type="radio"/> A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) <input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) <input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
<input checked="" type="radio"/> A 事業継続	資源循環の一翼を担っている施策であり、今後ともコスト面に留意しながら事業継続を図っていく必要がある。
<input type="radio"/> B 改善を検討し、事業継続	
<input type="radio"/> C 事業縮小・再構築の検討	
<input type="radio"/> D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項